

宮城県の「第7波」への対応について

たいさくきょうかせんげん
BA.5対策強化宣言 (8/5~8/31)

▽ 医療が厳しい状態ですから、私たちの生活を維持していくために「BA.5対策強化宣言」をします
→ 宮城県に住んでいる人へのお願いは、県の重点取組等大切な取り組みをもとに行います (8月5日~8月31日)

県の重点取組等

① オミクロン株対策で続けている「4本柱」

② 夏休み・お盆期間のお願い

オミクロン株対策の「4本柱」

- ① 3回目のワクチン接種を早く受けます
- ② 学校や保育所で感染を防ぐ対策をしっかりとします
- ③ 高齢者・障害者が施設を使えるように感染を防ぎます
- ④ テレワークや時差出勤などができる人をもっと増やします

夏休み・お盆の過ごし方

- ① 熱中症に注意して感染しないようにします
- ② 体調が悪い(熱があるなど)ときは、家にいます
(一緒に住んでいる人も同じです)
- ③ 宮城県外や地域のお祭りやイベントに行くときは
感染しないように注意します(体調が悪いときは家にいます。行った場所のルールを守ります。)

みやぎ BA.5対策強化宣言

宮城県に住んでいる人

- 感染しないように対策をしっかりとします
- ほかの人と食事をするときには気をつけます
- ワクチン3・4回目を受けましょう
- 検査キットを使って自分で検査します
(症状が軽くて、とても悪くなるリスクのない人)
- 感染するような行動をしません
(特に症状がとても悪くなるリスクのある人)
- 救急外来・救急車は症状がとても悪いときに使いましょう

事業者向け

- 在宅勤務(テレワーク)を増やしましょう
- 施設・イベント等で感染させないようにしましょう
- 業務継続計画をもとに仕事をしましょう
(特に社会経済活動を続けなければならない仕事)

みやぎけん す ひと ねが みやぎけん ぜんぶ 宮城県に住んでいる人へのお願い【宮城県全部】

がついつか がつ にち
8月5日～8月31日

- 部屋の空気を入れ替えたり、不織布のマスクをしたり、手をしっかり洗います。みんなが感染を防ぐ対策をしっかりとします。
- 熱中症にならないように気をつけます。他の人と近くで話すときなどは、マスクをしっかりとつけます。
- 宮城県外へ移動するときは、感染対策をしっかりとします。移動した場所の感染対策ルールをしっかりと守ります。
- 他の人と食事をするときは、短い時間にします。大きな声で話しません。話すときはマスクをしっかりとつけます。「うつさない」「うつらない」行動をします。
- 飲食店を選ぶときは、認証店 などの感染対策をしっかりとしている店にします。店の感染対策ルールを守ります。
- コロナの症状がない人で、感染が心配な人はコロナの検査を受けます。 ※「選ぶ！選ばれる!!みやぎ飲食店コロナ対策認証制度」の認証店
- できるだけ早く3回目までワクチン接種を受けます（特に若い人たち）。高齢者や病気がある人などコロナウイルスに感染すると症状がとても悪くなる人、病院や介護の仕事をしている人は4回目のワクチン接種を受けます。
- 宮城県の外の家族の家に行くときや旅行するとき、大きなイベントへ参加するときは、宮城県の無料の検査を受けます。
- 発熱・せき・のどの痛みなど、少しでも体調が悪いときは家にいます。一緒に住んでいる人も同じです。
- 診察や治療、また検査する医療機関の負担を少なくするため、コロナウイルスに感染しても症状が少なく、とても悪くなるリスクのない人は、感染しているか調べるために検査キット配送・陽性者登録センター（8/5(金)15時から受付開始）から検査キットをもらい、検査をします。
- あなたや家族を守るため、人がたくさんいる場所など、感染リスクの高いところへはなるべく行きません。外でたくさんの人とお酒を飲むなど、感染のリスクの高いことはしません（とても症状が悪くなるリスクの高い人は特に注意します）。
- 病院が大変な状況なので、救急外来に行く、救急車を呼ぶのは、症状がとても悪い時にします。